

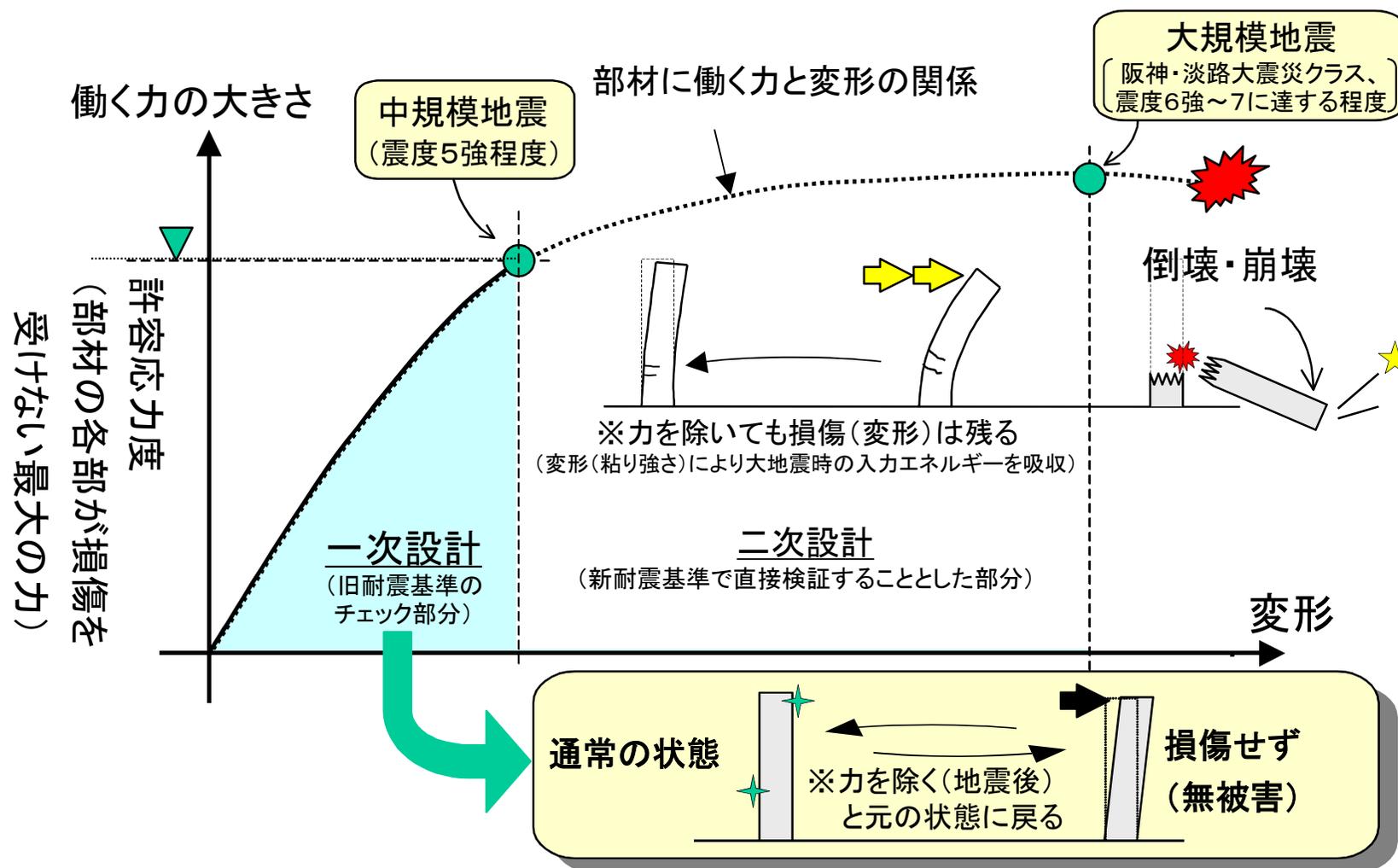
# 建築基準法の耐震基準の概要

## ○許容応力度計算（一次設計）

特徴「中規模の地震動でほとんど損傷しない」ことの検証を行う。（部材の各部に働く力 $\leq$ 許容応力度）  
 ⇒数十年に1度程度発生する地震動に対してほとんど損傷が生ずるおそれのないこと。

## ○保有水平耐力計算（二次設計※）

特徴「大規模の地震動で倒壊・崩壊しない」ことの検証を行う。（保有水平耐力比  $Q_u/Q_{un} \geq 1$ ）  
 ⇒数百年に1度程度発生する地震動に対して倒壊・崩壊するおそれのないこと。



※ 二次設計には、保有水平耐力計算の他、より略算的な許容応力度等計算やより高度な構造計算方法である限界耐力計算等がある。